

# 佐倉市 生涯学習チャンネル

公民館運営審議会 2021年2月16日

中央公民館 事業評価資料

# 新型コロナによる影響

- 5月まで貸館停止
- 8月までの主催事業中止
- 4年制市民大学「佐倉市民カレッジ」  
令和2年度全面休講

「集う」ことができないとき、  
公民館で何ができるのか

ZOOM と YouTube

# ZOOMをあきらめてYouTubeへ

- ZOOM 6/11佐倉市役所運用開始  
(部課長会議をZOOMで)
- 音質、通信環境に不安
- 同時性を捨ててYoutube配信の検討へ

# YouTubeのために準備したもの

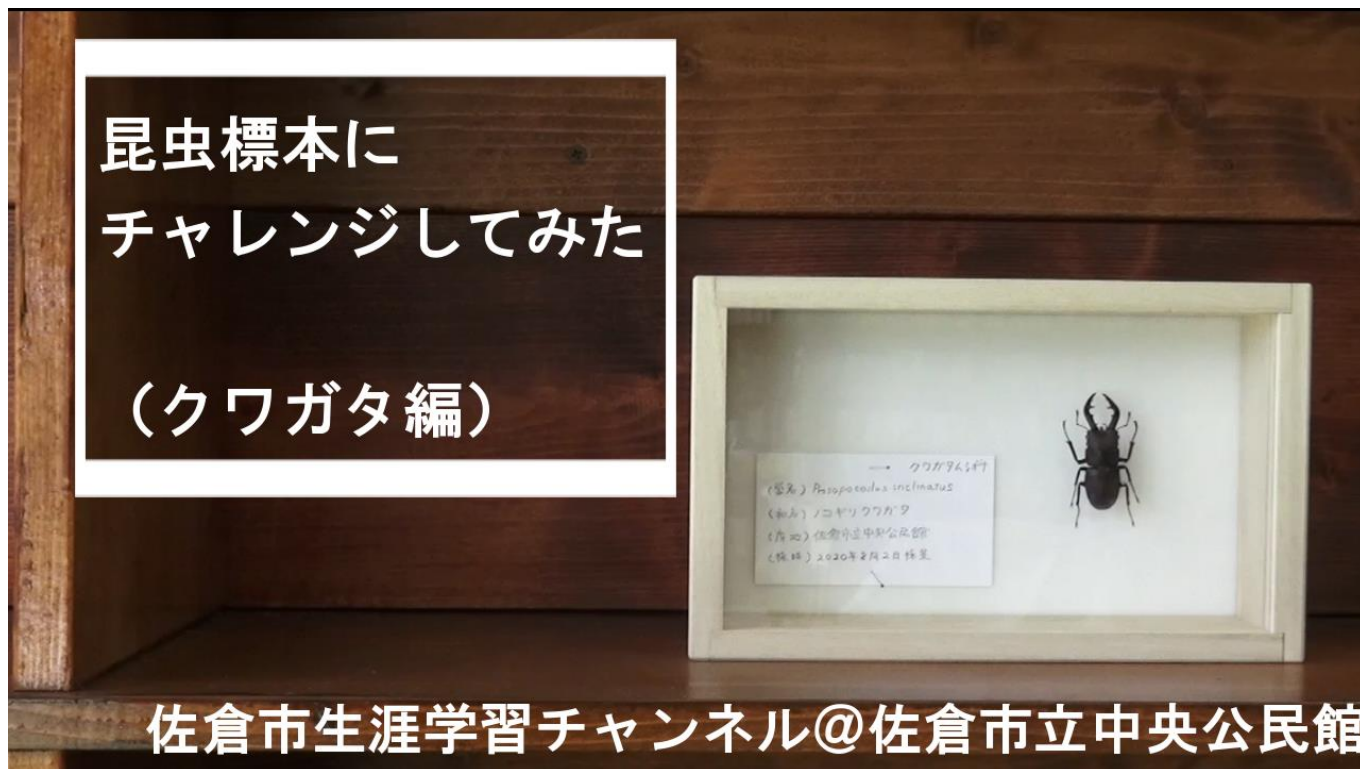
- 2人の担当職員
- やり方はYouTubeで調べる
- YouTubeをとにかく見る
- 機材、編集ソフトは職員個人のもので用意
- データのアップロードは職員の自宅Wi-Fiで

# 生涯学習チャンネル開設

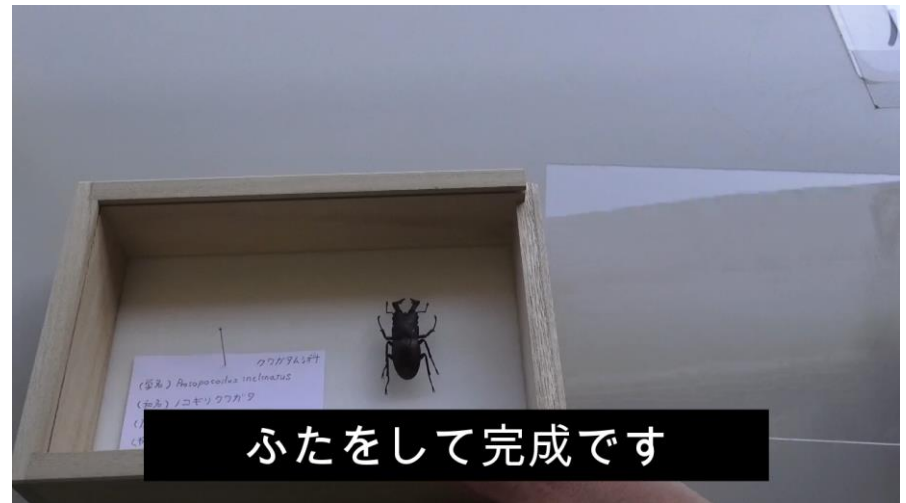
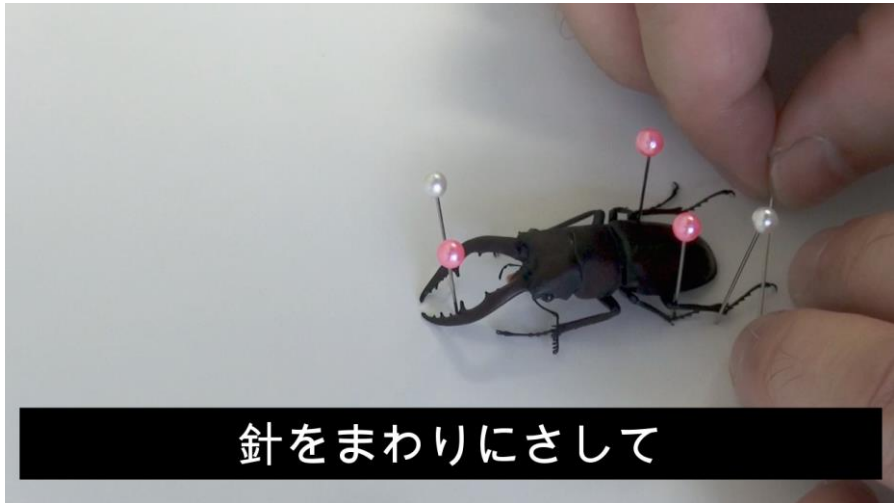
- 8月27日に佐倉市公式チャンネルとは別に、所属にかかわらず生涯学習的な内容を配信するYouTubeチャンネルを開設する
- 中央公民館では、できるだけ身近なものを使って、職員が動画配信することから始める

# 職員がつくった動画の配信開始

昆虫標本にチャレンジしてみた(クワガタ編)  
(2020/9/14) 2:52







# 草木染シリーズ

- 藍で染めてみた(2020/9/20) 5:28



藍で染めてみた

佐倉市立中央公民館

佐倉市生涯学習チャンネル@佐倉市立中央公民館

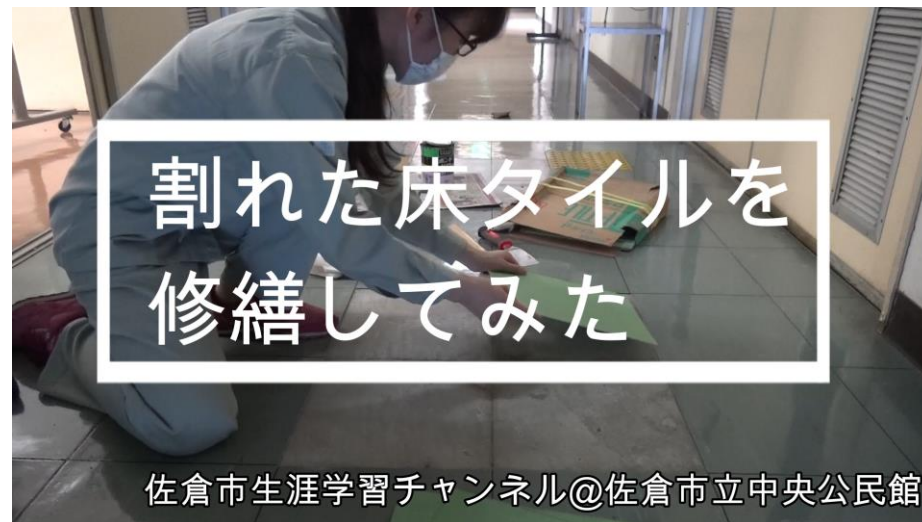




- 栗のいがで染めてみた(2020/10/14)4:49
- 栗の鬼皮で染めてみた(2020/10/14)3:23
- ビワで染めてみた(2020/11/19)5:49

# 公民館DIYシリーズ

- 本棚をつくってみた(2020/9/14) 3:07
- 割れた床タイルを修繕してみた(2020/9/22) 2:09
- カーペットを貼ってみた(2020/11/18) 3:07
- 長机をつくってみた(2020/11/18) 3:58





# 動画配信の実績

- 1月20日時点で15本を動画配信
- 視聴回数 平均54回
- チャンネル登録者7人

# これまで動画配信した所属

## 《佐倉市立中央公民館》

- ・草木染シリーズ
- ・公民館DIYシリーズ

## 《佐倉市立弥富公民館》

- ・おうちでピラティスシリーズ
- ・弥富の歴史を歩く

## 《文化課》

- ・国史跡井野長割遺跡指定15周年記念講演会



# 今後のYouTube活用予定

歴史講座をYouTubeで公開

- 佐倉学講座「成田参詣記にみる臼井・佐倉」
- 佐倉学講座「野村胡堂と『町人十萬石』」

《YouTubeで公開する意味》

講座に参加できない人への対応

地域の情報をストックし、アーカイブ化する

# 令和3年度 市民カレッジでの活用

## 《状況》

- 講師がリモート講義を希望する可能性が高い
- カレッジ生には少しでも体調が悪いときは出席を控えてほしい

## 《対応》リアル講座を基本としながらも、

- リモート希望の講師にはZOOM活用
- カレッジ生のみ講義をYouTubeで事後配信
- カレッジ生にも動画を作成してもらう新規講座

# YouTubeの活用段階

## ①YouTubeに慣れる段階

→職員で動画をつくって配信してみる

## ②主催事業で使う段階

→主催事業を動画配信してみる

## ③市民大学で使う段階

→動画配信を本格的に公民館事業に活用する段階

# 公民館のYouTube配信 に求められているもの

- ①再生回数よりもストックして価値がでるもの
- ②市民が学習するときに自由に使えること
- ③地域住民の体験価値や対話につながるもの

アフターコロナとなったとき、

動画配信が講座の価値を上げるような活用の仕方を目指す

おしまい

## YouTube チャンネル『佐倉市生涯学習チャンネル』について



### 《背景》

佐倉市の生涯学習的な動画を配信する YouTube チャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」を令和2年に開設しました。その背景としては、新型コロナウイルスの影響があります。令和2年度が始まったとき、中央公民館の貸館は5月末まで停止、主催事業も8月末まで中止、中央公民館の一番の重点事業である『佐倉市民カレッジ』も、令和2年度は全面休講となりました。

公民館の役割を「集う」「学ぶ」「結ぶ」と表現しますが、新型コロナにより一時的に「集う」機能を失ってしまったわけです。そこで、ウェブを使った公民館事業について検討を始めました。そのとき、ツールとして考えられたのが『ZOOM』と『YouTube』でした。

<p>新型コロナによる影響</p>	<p>「集う」ができないとき、 公民館で何ができるのか</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>• 5月まで貸館停止</li><li>• 8月までの主催事業中止</li><li>• 4年制市民大学「佐倉市民カレッジ」 令和2年度全面休講</li></ul>	<p>ZOOM と YouTube</p>

### 《ZOOM をいったんあきらめる》

ZOOM は、ウェブ上で会議や打ち合わせができるサービスです。企業などで実際に会って行われていた会議も、新型コロナによりリモートに次々に移行していったのは記憶に新しいところです。社会教育分野では、千葉市生涯学習セン

ターが5月15日という早い時期に、ZOOMをつかった講座を開催していません。

佐倉市におけるZOOMの導入状況は、所属に1台ずつZOOMが使えるパソコンが置かれ、6月11日から部課長会議をリモートで行うことで、運用が開始されました。しかしながら、中央公民館でZOOMを使ったところ、音質が悪く発言が聞き取りづらい、通信環境が不安定でときどき画面が動かなくなる、または切断されてしまう、という状況があり、公民館の主催事業としてZOOMを使うことは難しいのではないかと判断しました。そこで、もうひとつの候補であったYouTubeの検討をすすめることにしました。

ZOOMをあきらめてYouTubeへ	YouTubeのために準備したもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ZOOM 6/11佐倉市役所運用開始 (部課長会議をZOOMで)</li> <li>• 音質、通信環境に不安</li> <li>• 同時性を捨ててYoutube配信の検討へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2人の担当職員</li> <li>• やり方はYouTubeで調べる</li> <li>• YouTubeをとにかく見る</li> <li>• 機材、編集ソフトは職員個人のもので用意</li> <li>• データのアップロードは職員の自宅Wi-Fiで</li> </ul>

#### 《YouTubeの検討と準備》

検討を始めるにあたって、2人の担当職員を決めました。担当職員はまず、YouTubeの始め方、やり方をYouTubeの動画検索で調べていきました。

それと同時に、YouTubeですでに公開されている教育系動画や講演会などをたくさん見ることで、どのあたりがYouTubeの動画配信にあたってポイントになるのかを議論していきました。

必要な機材もわかってきましたが、備品を購入する予算がなく、新たに予算措置をする時間的余裕もなかったため、職員個人で持っている機材を寄せ集めて、必要な機材をそろえていきました。

#### 《佐倉市生涯学習チャンネルの開設》

6月半ばに機材がそろったため、動画配信に向けて具体的に動き始めました。ここでYouTubeのチャンネル開設にあたって、ふたつの選択肢がありました。

ひとつ目は、すでにある佐倉市の公式YouTubeチャンネルを使って、公民館で作成した動画を配信する方法です。ふたつ目は、新たに公民館の動画を配信する専用チャンネルをつくるという方法でした。

佐倉市の公式チャンネルを管理している広報課と協議をしたところ、公式チャンネルではシティプロモーション的な内容をメインにしていきたいので、生

涯学習的な内容については別チャンネルを新たにつくったほうがよいとの結論になりました。

公式チャンネルとは別に、所属にかかわらず生涯学習的な内容を配信できるチャンネルとして、『佐倉市生涯学習チャンネル』を8月27日に開設しました。チャンネルの管理は佐倉市立中央公民館が行っています。

開設にあたっては他の市内5館の公民館にお知らせをし、主催事業などを撮影し動画配信するときは、中央公民館に伝えてほしいと依頼をしました。

中央公民館としては、まずできるだけ身近なものを使って、職員が動画をつくって配信してみることから、始めることにしました。

### 生涯学習チャンネル開設

- ・ 8月27日に佐倉市公式チャンネルとは別に、所属にかかわらず生涯学習的な内容を配信するYouTubeチャンネルを開設する
- ・ 中央公民館では、できるだけ身近なものを使って、職員が動画配信することから始める

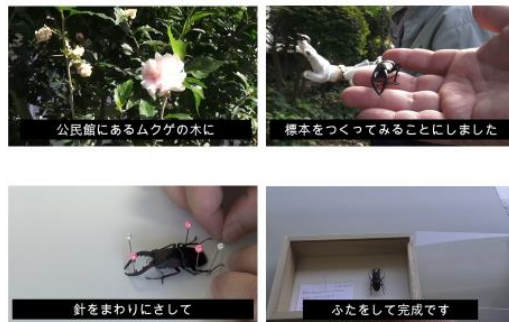
### 《職員がつくった動画》

その身近なものをつかった動画の一例をあげますと、9月14日に配信した『昆虫標本にチャレンジしてみた（クワガタ編）』という2分52秒の動画があります。

中央公民館にカブトムシやクワガタが集まる木があり、その木を調べていたところ、形のきれいなクワガタの死骸を見つけたので、昆虫標本をつくれるのではないかと思いつき、その作成過程を動画にしてみたものです。つくった標本は中央公民館の本棚に飾られています。このようなかたちで、できるだけ身近なものをつかって、生涯学習的な内容の動画をつくっていきました。

### 職員がつくった動画の配信開始

昆虫標本にチャレンジしてみた(クワガタ編)  
(2020/9/14)2:52





《ふたつのシリーズもの》

中央公民館において職員が動画の作成をしていくなかで、ふたつのシリーズものが生まれました。そのひとつが『草木染めシリーズ』です。

このシリーズは、9月20日に配信した5分28秒の『藍で染めてみた』という動画配信から始まります。

中央公民館では昨年度、藍の生葉を使った草木染めの講座を行っていました。講座で使う藍は中央公民館敷地内で育てており、この講座のために種を蒔くところから職員の準備は始まっています。今年度もこの講座を予定していましたが、新型コロナのため中止となりました。そこで、藍の生葉を使った草木染めの過程を動画配信することにしました。

この『藍で染めてみた』の動画のあと、草木染めは身近な素材を使ってできることからシリーズ化できることに気がつき、そのときどきで手に入るもので草木染めをして動画配信しています。これまで、栗の鬼皮や栗のいが、ビワの葉などの草木染めを配信しています。

こうした動画は、新型コロナがおさまったあと、実際に講座ができるようになったときの宣伝につながればと考えています。



もうひとつシリーズ化したものが『公民館 DIY』シリーズです。このシリーズのもともとの発端は、平成30年7月に佐倉市の公民館が有料化されたことにさかのぼります。

中央公民館では、公民館が有料化された際に、その利用料金をどのように利用者に還元しているのかを発信していく必要があると考え、ツイッターとフェイスブックのアカウントを作成し、公民館の修繕や新たに買った備品について情報発信をしていました。その修繕も職員がDIYするときがあるため、それを動画にしてYouTubeで配信を始めたのがきっかけです。

新型コロナで閉館となっていた期間から職員のDIYの様子を撮影し、本棚の作成、割れた床タイルの修繕、新しいカーペットの貼替、長机の作成の様子を動

画配信しました。こうした配信により、職員が日々、施設維持のために努力していることを感じてもらえればと考えています。

<h3>公民館DIYシリーズ</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本棚をつくってみた(2020/9/14)3:07</li> <li>• 割れた床タイルを修繕してみた(2020/9/22)2:09</li> <li>• カーペットを貼ってみた(2020/11/18)3:07</li> <li>• 長机をつくってみた(2020/11/18)3:58</li> </ul>	

### 《動画配信の実績》

令和2年8月27日にチャンネル開設をしましたが、令和3年1月8日の時点での実績は下記のとおりです。正直なところ、あまり見られてはいません。

- 配信した動画 15本
- 視聴回数 平均55回程度
- チャンネル登録者数 7人

動画配信した所属は、中央公民館と弥富公民館のふたつの所属です。弥富公民館は『おうちでピラティス』シリーズ4本と弥富公民館主催事業の『弥富の歴史を歩く』の様子を配信しました。

この他にも、教育委員会文化課が国史跡井野長割遺跡指定15周年記念講演会の様子を配信する予定です。これは会場が中央公民館であることから、中央公民館が人や機材を提供し協力することで、動画配信にいたりました。

他所属の配信を今後もっと増やしていきたいのですが、今ある備品ではうまく対応できないことが「壁」になっていると思われます。備品の問題は今後の予算措置において検討していきたいと考えています。

<h3>動画配信の実績</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1月20日時点で15本を動画配信</li> <li>• 視聴回数 平均54回</li> <li>• チャンネル登録者7人</li> </ul>	<h3>これまで動画配信した所属</h3> <p>《佐倉市立中央公民館》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 草木染シリーズ</li> <li>• 公民館DIYシリーズ</li> </ul> <p>《佐倉市立弥富公民館》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• おうちでピラティスシリーズ</li> <li>• 弥富の歴史を歩く</li> </ul> <p>《文化課》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国史跡井野長割遺跡指定15周年記念講演会</li> </ul>
---	---

《中央公民館における今後のYouTube活用予定》

今後のYouTube活用としては、令和2年度内にふたつの佐倉学講座を予定しています。

ひとつ目の佐倉学講座「成田参詣記にみる臼井・佐倉」については、当初から開催を予定していた講座で、講師の了解が得られたことから、講座の様子を撮影し、YouTubeで公開することになりました。

もうひとつの佐倉学講座「野村胡堂と『町人十萬石』」については、YouTube公開を前提として企画した初めての講座になります。この講座は平成29年度にすでに実施した講座ですが、YouTube公開のためにあらためて講師をお願いをし、無観客で講義をしていただき、撮影して動画配信するものです。

こうした歴史講座をYouTubeで公開する意味としては、新型コロナのため実際に講座を聞きにくることができない人への対応ということと、YouTubeで動画配信をすることで、地域の情報をストックしアーカイブ化していくことができることがあります。

これまで公民館で行う主催講座は、その場に参加しないと聞けないものでしたが、YouTube動画にすることで、消えていく情報をストックしていけることになります。こうした情報のストック化がYouTube発信のひとつのメリットだと考えています。

今後のYouTube活用予定	令和3年度 市民カレッジでの活用
<p>歴史講座をYouTubeで公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐倉学講座「成田参詣記にみる臼井・佐倉」</li> <li>・ 佐倉学講座「野村胡堂と『町人十萬石』」</li> </ul> <p>《YouTubeで公開する意味》 講座に参加できない人への対応 地域の情報をストックし、アーカイブ化する</p>	<p>《状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師がリモート講義を希望する可能性が高い</li> <li>・ カレッジ生には少しでも体調が悪いときは出席を控えてほしい</li> </ul> <p>《対応》リアル講座を基本としながらも、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リモート希望の講師にはZOOM活用</li> <li>・ カレッジ生のみ講義をYouTubeで事後配信</li> <li>・ カレッジ生にも動画を作成してもらった新規講座</li> </ul>

《市民カレッジにおける活用》

中央公民館の重点事業である4年制の市民大学、佐倉市民カレッジは、令和2年度は新型コロナにより全面休講となりましたが、令和3年度は新型コロナ対策をしながら開講する予定です。そのなかでZOOMとYouTubeを使うことを検討しています。

ZOOMは、いったんは使えないのではないかとあきらめましたが、何度かテストを繰り返したところ、問題がないレベルになってきました。市民カレッジの講師依頼にあたっては、講師の先生がZOOMを使ったリモート講義を希望する可能性が高いと考えており、そのときはZOOMによるリモート講義に対応する

予定でいます。

また、カレッジ生には少しでも体調が悪いときには出席を見合わせてほしいため、講師の先生の了解が得られたものについては講義の様子を撮影し、後日カレッジ生のみ YouTube で限定配信する予定でいます。このことで、欠席した人も講義を聞くことができるようになり、授業に出席した人も、後で動画を見て振り返りができるようになります。

市民カレッジでは、実際に講師の先生に来てもらい、生徒も教室に集まり、授業を受けるというかたちを基本と考えていますが、ZOOM や YouTube をあわせて使いながら新型コロナ対策をしていく予定です。

### 《公民館の YouTube に求められているもの》

中央公民館の YouTube の活用段階は大きく3段階に分かれると考えられます。最初の段階は、YouTube にまずは慣れていく段階として、職員で動画をつくって配信してみる段階です。現時点はここに位置していると考えています。次の段階は、主催事業で YouTube を使っていく段階で、今年度の残りの期間がそれに当たると考えられます。3段階目が来年度の市民カレッジにおいて YouTube を使う段階です。来年度が本格的に YouTube を公民館事業で使っていく段階だと考えています。

YouTubeの活用段階	公民館のYouTube配信に求められているもの
<p>①YouTubeに慣れる段階 →職員で動画をつくって配信してみる</p> <p>②主催事業で使う段階 →主催事業を動画配信してみる</p> <p>③市民大学で使う段階 →動画配信を本格的に公民館事業に活用する段階</p>	<p>①再生回数よりもストックして価値がでるもの</p> <p>②市民が学習するときに自由に使えること</p> <p>③地域住民の体験価値や対話につながるもの</p> <p>アフターコロナとなったとき、 動画配信が講座の価値を上げるような活用の仕方を目指す</p>

最後に、これまでの活動のなかで感じた公民館での YouTube 配信におけるポイントについて述べたいと思います。

まず、公民館の配信動画は基本的には、後に誰かが調べたりするときに役に立つような、ストックして価値が出るようなものを意識して扱っていくべきなのではないかと感じています。公民館は、地域の研究者や自ら学習した方の成果が集まるところでもあります。こうした情報を、検索可能な動画としてアーカイブ化していくことが、今後の公民館の大きな役割になるのではないかと考えています。

そして、その発信した情報は、地域の人が学習に使うときに自由に使えるようになっていくことが望ましいと考えています。動画というメディアは、多くの人

といっしょに見ることが可能であり、情報の共有が一度にできるという特性があると感じています。地域の方々が学習に使うときに、著作権を気にせず自由に使えるようになっていることで、より生涯学習に利用していただけるようになるのではないかと考えています。

最後に、公民館が発信する情報は、やはり地域住民のための情報だということ意識することが必要だと思います。公民館による YouTube の配信が、地域の方々の体験につながったり、対話を促したりするものであることが望ましいと考えています。

一例をあげますと、公民館で小学生向けに昆虫観察の動画をつくることになったとします。YouTube で検索すると、おそらく専門家やそれを趣味とする方がつくったクオリティの高い動画がたくさん出てくると思います。公民館でそのクオリティに並ぶような動画をつくることは難しいかもしれません。

しかし、佐倉小学校の子どもたちが昆虫観察をしたいと思ったときに、より役に立つ動画をつくることはできるのではないのでしょうか。佐倉小学校の子どもたちなら、見ればどこにあるかわかる木をとりあげて、そこに集まる昆虫を紹介することで、昆虫を見にいってみようという気にさせることはできるのではないかと思います。

こうした地域の方を対象と考え、体験を促すような動画を配信していくことも、公民館の役割のように感じています。

#### 《アフターコロナに向けて》

現在は新型コロナ対策のために ZOOM や YouTube を使っていますが、それと同時にコロナ後における講座のあり方についても、今から考えていく必要があると思っています。リモートで使った技術とリアルな講座をうまく組み合わせたい使い方について、今後、検討していきたいと考えています。

#### 《佐倉市生涯学習チャンネル》

[https://www.youtube.com/channel/UC\\_Evupe1eNMbwl\\_VHW-j4Q](https://www.youtube.com/channel/UC_Evupe1eNMbwl_VHW-j4Q)